

- 全国の学校現場において、ICT環境を日常的に安定した形で「管理運営」しつつ、ICTを効果的に用いた児童生徒の学びの充実に向けて「指導」を行うことができるよう、学校現場における具体的な**利活用状況の把握（①）**、**文献調査・分析（②）**等を通じた専門的な検討を行い、**1人1台端末の円滑な利活用の更なる促進に向けて、「一定の考え方」や「参考情報」等を整理**する。

① 利活用状況調査（抽出）

学校現場における利活用について深掘りし、より現実的な状況を把握

【協力者会議で検討】

- ・ 調査項目、手法の検討
- ・ 調査結果のレビュー、考え方の整理に向けた検討

【文部科学省で対応】

- ・ 調査の方向性、項目・手法案の作成
- ・ 調査の実施

【調査項目イメージ】

利用している学習場面、使用頻度や時間、使用する端末の機能 等

【実施時期（予定）】

- 5月～6月 : 調査内容を検討
- 7月～8月 : 調査実施の事前連絡
- 9月～12月 : 調査実施、整理

【調査対象】

小学校・中学校・高等学校 等

② 文献調査

実施教育におけるICT端末の導入・活用、児童生徒の学びの変容等に関する国内／外の先行的な調査研究事例の収集を行い、整理、分析を実施

【協力者会議で検討】

- ・ 関連文献の紹介

【文部科学省で対応】

- ・ 調査の方向性、項目・手法案の作成
- ・ 調査の実施

【実施時期（予定）】

8月～12月：調査実施（委託予定）

③ ヒアリング

協力者会議における議論に資するため、各分野の関係者ヒアリングを実施し、1人1台端末の円滑な利活用の観点から意見を聴取

【ヒアリング対象分野（案）】

- 端末の持ち帰りについて（保護者理解の観点）
- セキュリティ関係（持ち帰り含む）
- 情報モラル教育
- 健康面への影響 等



考え方の整理に向けたポイント例

- ✓ **1人1台端末環境を積極的に活用していくための基本的な考え方**
- ✓ **「管理運営」、「指導」に当たった具体的な取組、留意事項**
(端末の管理・利活用、クラウド活用、個人情報保護、教師のICT活用指導力向上、デジタル教科書・教材の活用、情報モラル教育、児童生徒の健康面での配慮事項、保護者や地域の理解促進 等)
- ✓ **家庭への持ち帰りを含む、学校から端末を持ち出す際の留意事項**
(平時／緊急時の扱い、セキュリティの確保、家庭以外の施設への持ち出し、不登校児童生徒・病気療養の児童生徒・フリースクールに通う児童生徒等への配慮 等)